

枚方市広報アドバイザーが従事した職務の遂行に係る情報

| | |
|------|---|
| 議 題 | 人口誘導・定住促進における市のPR等について その他 |
| 日 時 | 平成29年8月23日(水) 14時00分～17時00分 |
| 場 所 | 第3委員会室 |
| 出席者 | 伊賀広報アドバイザー 総合政策部副参事 ひらかた魅力推進課長及び同課職員3人 子ども青少年政策課長及び同課職員1人 文化生涯学習室職員3人(他2名) 広報課長及び同課職員3人 |
| 主な意見 | <p><人口誘導・定住促進における市のPR等について></p> <p>*PRイベントの効果検証について 本来は、イベント参加者と不参加者それぞれにアンケートを実施して、その差を比較できればよいが、不参加者の回答の確保が難しい。 サンプルを配布したい企業もあるので、協賛品を募集してもよいと思う。その場合は、広くかつ公平に募集するのが望ましい。自前で作る場合は、再利用されるもの、印刷面が大きいものはPR効果が高い。</p> <p>*ふるさと寄附金プロモーション パンフレットを見ると返礼品目が多い印象を受ける。寄附者の嗜好を分析すれば、例えば人気のある分野に絞るのか、品数を充実させるのかなどの方向性が検討できる。 月毎や季節毎に返礼品を追加・変更などすることで、ポータルサイトの新着情報に掲載される機会を増やす方策を考えてはどうか。</p> <p><その他></p> <p>*「くずはアートギャラリー情報誌」のデザインについて デザインの検討の前に、まず、現在の配布状況・使用状況を調査すべき。現状を把握できなければ、デザイン変更による効果があったかどうか判断できない。また、情報誌のターゲットを明確にした上で作成すること。展示会が無料だとわからないので、明記してはどうか。</p> <p>*結婚生活支援事業(補助制度)の周知について ターゲットの年齢層から考えると、チラシよりも、ホームページでの周知がよいのではないかと。また、フェイスブックやツイッターを活用するのもよい。国制度の補助上限額に市独自で上乗せしているメリットを強調してはどうか。対象となる条件もわかりやすく載せたほうが良い。 結婚する予定の方は戸籍のページを参照すると思うので、そのページに補助金ページのリンクをはってもらえると効果的では。「住居・住まい」のカテゴリーにも関連付けるのも良いと思う。 その他、住宅展示場へのチラシ配布や、結婚に関連する民間企業への情報提供などを行ってはどうか。</p> |
| 事務局 | 市長公室 広報課 |